提出順	6	発言順	6	令和4年5月26日 午前・午後 2時43分受領

（2枚中№1）

令和 4年 5月 26日

（宛先）安曇野市議会議長　平林　明

安曇野市議会議員　橋本　裕二

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和４年安曇野市議会　6月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	20　分
答弁を求める者	☑市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 ☑総務部　□政策部　□市民生活部　□福祉部　□保健医療部 □農林部　☑商工観光スポーツ部　□都市建設部　□危機管理監 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	財源について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

1．市の合計特殊出生率が県内19市中16番目であることや、国の推計で2045年までに市の生産年齢人口（15～64歳）が3分の2に縮小する（2015年比）ことを踏まえ、今のペースで子どもや若者が減っていった場合、その未来をどのように考えているか。勤労世代の力を維持していくための具体策は。「安曇野市の活力」を測る上で、市長が最も気に留めている統計的指標は何か。

2．自治体として激動の時代を生き抜く必要があるが、新しい時代の新しい需要に応えるため、また市の存在感を際立たせるために、戦略的な予算として大きな財源（億～数十億）を確保していく考えはあるか。

3．「事業仕分けによる歳出の削減　-　事業者向け補助金について」

市は事業者が創業支援資金等の制度資金を借り入れた際の信用保証料の補助や利子補給を行なっているが、民間の金融機関も存在する中で、市はさらに事業者に補助金（例。空き店舗等改修補助金）を出している。この背景にある考えは。市場原理に従わない形で消費者（需要）よりも事業者（供給）を増やせば、限られたパイの奪い合いを呼び起こさないか。

提出順	6	発言順	6	令和 4 年 5 月 26 日 午前・午後 2 時 43 分受領

（ 2枚中№2 ）

令和 4年 5月 26日

（宛先）安曇野市議会議長　平林 明

安曇野市議会議員　橋本 裕二

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和４年安曇野市議会　6月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	☑市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 ☑総務部　□政策部　☑市民生活部　□福祉部　□保健医療部 ☑農林部　☑商工観光スポーツ部　□都市建設部　□危機管理監 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	財源について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

4．「倹約、工夫による歳出の削減　－　ゴミについて」

(1) 増え続ける事業系ゴミを減らすため、具体的にどのような対策をとっていくのか。これまで事業系ゴミを減らすことができなかった理由はどこにあったのか。市から出るゴミの約3割が「水」であることについて、抜本的な対策は。

(2) 市職員が弁当ゴミ等を市庁舎内で捨てることを認められないか。

5．「歳入の増加　－　移住、ふるさと納税返礼品（米）、インバウンドについて」

(1) 移住者を増やすべく、Uターン・Iターンの市職員で職域横断の移住促進特命チームを作り、経験者の視点から課題と希望を洗い出し、具体的な施策に繋げてはどうか。

(2) ふるさと納税における米の返礼品について、生産者任せではなく市が旗を振ってラインナップを拡充、また他市にならって「3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月連続お届け」といった返礼形式を用意してはどうか。またふるさと納税制度に限らず、安曇野産米のブランド力・発信力の向上を考えた時、今何ができるのか。

(3) 国際線の機内CMで安曇野市の広告動画を流せないか。